



佐藤 憲一さん (83)

ヨシノさん (79)

東和町・米川3区  
1962(昭和37)年11月入籍

### いつまでも元気に孫の追っ掛けを

★二人のなれ初めは  
【憲一】出合いは青年会のフオークダンスパーティーだったね。  
★お互いの第一印象は  
【憲二】おどなしそうだなって思ったよ。  
【ヨシノ】真面目そうな人だなって思ったね。  
★結婚当時の思い出は  
【憲二】勤めが忙しくて新婚旅行もなかった。退職前にハワイ旅行したのはいい思い出だな。北海道も良かったね。  
【ヨシノ】農家仕事は、初めてのことで大変だったね。農作業しながらの子育ては大変だったけど苦には思わなかったよ。  
★夫婦円満のコツは  
【憲二】家の中のことは妻に任せることだね。  
【ヨシノ】信頼することかな。意見が違ったこともあったけど、けんかはずなりましたよ。  
★現在の楽しみは  
【二人】近くに住んでいる2人の孫が、学校の帰りに寄ってくるのがうれしいね。2人とも野球をやっている、応援に行くのが楽しみだね。

# おらほの道の駅

## 道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



レストランは午前11時から食事ができます。テイクアウトは焼豚丼、油麩丼、たっぷり野菜カレーの3メニューを用意。

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一郎駅長にお話を伺いました。  
**Qおすすめ商品などを教えてください**  
レストランの人気メニューのスープカレーをリニューアルしました。チキン、ポーク、ハンバーグと人気の具材はそのままで、スープに使用するトマトを増量しました。爽やかな酸味が食欲をそそります。特におすすめのポークです。艶のある新鮮な野菜の奥に入っている角切り肉は、石越醸造の酒粕や脂肪をまろやかにする玄米など



スープカレーは、辛さが1から30倍まで選べます。リピーターが多い人気メニュー。

**Qこれから入荷する人気商品を教えてください**  
これからの時期は、ホウレンソウなどの葉物がおすすです。また、新米の入荷が始まる季節になりますので、ぜひご賞味ください。  
**【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」**  
☎0220(55)2747



登米市産の米粉を使用したこしが強く伸びにくい米粉めんも人気商品。

# One's Home

## ふるさとへの思い

### 「ふるさと」

石越を離れてはや50年になろうとしています。当時はまだ鈍行も急行列車もあって、帰省の際は夜行列車をよく利用しました。新幹線が走り、在来線の本数が少なくなってきたら、帰省の際の玄関口はやはり石越駅なんだという思いがあった。仙台駅で在来線に乗り換えたものでした。

私が小さい時の遊びのテリトリーは、地区内のさらに狭い範囲でした。小学2年までは分校の複式学級で学び、3年から本校に通いましたが、それでもテリトリーは変わりませんでした。冬はすぐそばの堤防でそり滑り、夏は近くの川や迫川での水泳。そのときには何人かの大人たちが監視についていたように思いました。

### 千葉 正志さん(67)

東京いしこし会幹事  
石越町(第十四)出身



「ふるさと」田舎」と思われがちですが、決してそんな事ではなく、自分自身の心のありようの原点が「ふるさと」なのだとは考えます。生まれ育った土地の状況や環境は日々変化しますが、心の内に培ったものは、未来永劫変わらぬものだとは私は確信しています。これから社会へと巣立つ人たちが、その後には味わうであろう満足感、挫折感、そのときに心の内に占める感情の間を誰もが持っているはずで、そここそ、その人のふるさとがあるのではないのでしょうか。

# まちの文芸

## 短歌

### 作品募集!

●11月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、9月30日(水)まで応募ください。作品氏名には全てふりがなを振ってください。  
●応募者多数の場合選考して掲載します。

ウイルスで和が冷へて心泣き  
五輪来るまで凍として待つ  
コロナ禍や終息祈り仰ぐ夜空  
キラリ一瞬一筋の流星  
ほととぎす朝のしごまを鳴きかわす  
初盆迎える亡友の声かも  
庭に映ゆ半夏すつくと立ち上り  
手品の如く咲き変わる花  
コロナとて過し月日も矢の如し  
令和二年も秋の風ふく

星 慶堅 (迫)  
丸山 米子 (東和)  
熊谷たかよ (中田)  
熊谷夕へ子 (中田)  
佐々木栄一 (中田)

老後とは余生にあらず新しき  
人生あると朝刊ひらく  
軒先に幸せ運ぶ渡たり鳥  
親の愛情分けへだてなく  
妻逝きて虚ろなる日を送りし折  
幼曾孫に心むる  
重たげな稲穂の上で懸命に  
身ふるわせ鳥追いテープ  
夏エビネ猛暑にめげず花咲きて  
コロナ自粛を癒さるるなり

千葉 源治 (中田)  
齋藤フキ子 (石越)  
佐瀬 徳 (南方)  
三上久美子 (南方)  
阿部 洋子 (津山)